

令和5年度 学校関係者評価結果報告書

令和6年3月

評価対象期間

自令和5年4月 1日

至令和6年3月31日

公益財団法人 中国四国酪農大
学校関係者評価委員会

I 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の趣旨

中国四国酪農大学校における学校関係者評価の目的は、大学校が実施した自己評価結果を関係者評価委員会へ報告し、自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、指導助言を得て教育活動及び学校運営の改善を図ることである。

2. 学校関係者評価委員会の審議事項

- (1) 実施体制、実施方法及び評価項目について
- (2) 自己評価の結果および今後の改善方策について
- (3) 令和6年度の重点取組目標と計画について
- (4) 学校関係者評価報告書の作成及び公表方法
- (5) その他審議が必要とされる事項

3. 基本方針

大学校における学校関係者評価は文部科学省生涯学習政策局『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って行うことを基本とする。

5. 自己評価の仕方

大学校は学校関係者委員会の実施に先立ち、『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って、令和5年度自己評価を実施した。

自己評価の点検項目は、10分類59項目である。『令和5年度自己評価集計結果』には、自己評価ポイント（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）を示した。また、項目ごと、職員の記載した現状及び問題点と改善策を記載し、自己評価委員会の審議を経て学校関係者評価委員に提出した。

6. 自己評価の実施

期間：令和6年2月6日～2月15日

対象：パートを除く教職員（事務職員も含む）13名

回答数：13名

7. 自己評価委員会の開催

令和6年2月27日

自己評価委員会名簿

委員長 菱川雅弘 校長

委員 中村浩三 副校長

〃 関 哲生 教務課長

〃 芦田草太 第2牧場長

〃 有富英美 総務係長

II 学校関係者評価委員 名簿

酪農・畜産関係団体関係者：全国酪農業協同組合連合会大阪支所中四国事務所長 瀧本慎也

大学校同窓会長（卒業生代表）：中国四国酪農大学校同窓会長 小谷 徹

農業高等学校関係者代表：岡山県立高松農業高等学校校長 三輪 貴

地域住民代表 : おかやま酪農業協同組合蒜山事務所長 山本恭子

県行政担当者 : 岡山県農林水産部畜産課総括参事 守屋吉英

III 学校関係者評価委員会の実施状況 自己評価結果の解説とその評価

令和6年3月21日

欠席委員：全国酪農業協同組合連合会大阪支所中四国事務所長 瀧本慎也

学内関係者：菱川雅弘 校長

中村浩三 副校長

関 哲生 教務課長

学校関係者評価委員会の進行状況

学校の概要及び教育活動の説明

自己評価結果の説明と質疑

評価結果の判定（評価シート記入）

IV学校評価委員会評価結果

1. 評価の仕方

学校関係者評価委員は、大学校の説明を受け、自己評価集計結果の内容及び、自己評価結果の評価方法を理解したうえで、大学校が行った自己評価結果について、A適切である Bまあ適切である C若干の改善が必要である D改善が必要である の4分法にて評価を行い、その理由や意見を書面により表した。

2. 項目別評価結果と主なコメント

(1) 教育理念・目的

A適切である 3人

Bまあ適切である

C若干の改善が必要である

D改善が必要である

・特になし

(2) 学校運営

A適切である 3人

Bまあ適切である

C若干の改善が必要である

D改善が必要である

・人材確保がむずかしい中、早急に定年延長に対応した規程の整備を進めて下さい。

(3) 教育活動

A適切である2人 Bまあ適切である1人 C若干の改善が必要である D改善が必要である

- ・学生のカラーが変化しているとのことであるが、それに合わせるばかりではなく、学生のためにも社会に出ても困らないように教育して欲しい。
- ・コロナ禍にあつて、教育機関全般でコミュニケーション能力の低下が課題となっている。

(4) 学修成果

A適切である1人 Bまあ適切である2人 C若干の改善が必要である D改善が必要である

- ・学生が多様化しているので、退学率はしかたないと思う。
- ・卒業生のフォローアップ体制の強化は、とても大切なことだと思う。

(5) 学生支援

A適切である2人 Bまあ適切である1人 C若干の改善が必要である D改善が必要である

- ・退学者を一人でも少なくするため、学生の気持ちをしっかり聞き取りして下さい。

(6) 教育環境

A適切である Bまあ適切である2人 C若干の改善が必要である1人 D改善が必要である

- ・先進の酪農を学べる魅力的な教育環境であつて欲しいと思う。
- ・老朽化した施設等の修繕が必要ですが、県の事業などをしっかり活用して下さい。

(7) 学生の受入れ募集

A適切である1人 Bまあ適切である2人 C若干の改善が必要である D改善が必要である

- ・学生募集でオープンキャンパスやホームページは重要です。どのような学生を求めるのかで、全体の方向性が大きく変わってくると思う。

(8) 財務

A適切である1人 Bまあ適切である1人 C若干の改善が必要である1人 D改善が必要である

- ・資材高騰は学校の責任ではないが、経営は苦しい状況にある。

(9) 法令等の遵守

A適切である3人 Bまあ適切である C若干の改善が必要である D改善が必要である

- ・特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

A適切である2人 Bまあ適切である1人 C若干の改善が必要である D改善が必要である

- ・特になし

○全体を通じて

- ・学校の経営目標の基にしっかりとした教育活動がなされていると思う。
- ・また、その成果は学生の進路にもしっかり表れていると思う。
- ・それぞれの項目に課題はあるが、それに対する改善方針や改善策もよく考えられていると思う。

3. 令和6年度の重点取組目標と計画について

- ①意欲ある学生の確保（情報発信・県内外学校訪問・オープンキャンパス・学校説明会）
- ②学生支援の充実（国修学支援制度の認定・関係機関との連携）
- ③運営体制の強化（関係機関との連携強化・人員の確保・環境整備）
- ④酪農フィールド研修の充実（社会人）